

## 第5回

# ディスプレイキッズ

令和6年12月21日  
牛久幼稚園



園からお母さんへの子育て通信 vol.5

## 過保護と過干渉は違います



「過保護」という言葉をよく耳にしますが、過保護が決していけないわけではありません。ご家族の愛情を十分に受けて育ったお子様は、優しさや思いやりのあるお子様にすくすくと成長していくことでしょう。お子様のことを十分に理解し、一緒に笑い、泣き、考えてあげることが何より大切です。

過保護がいけないと言われるのは、「過干渉」になってしまっているからではないでしょうか。「上手にできないから…」「やって！ やって！ とせがまれるから…」「時間がかかり過ぎるから…」と、ついつい手を出し過ぎたり、かまひ過ぎたりはしていませんか。

時と場合にもよりますが、普段の生活の中では、【待つこと】【させてみること】【頑張ったことを認め、褒めてあげること】【褒めて伸ばし、自信を持たせること】を心掛けていただきたいと思います。過干渉になると、お子様の自立心を妨げ、自ら考え行動しようとする力が育たなくなってしまいます。だからといって、全部を一人でやらせたり、考えさせたりすることには無理があります。ある程度まで手を貸したり、一緒にやってみたり考えてあげたりして、徐々に自立していく過程を見守り、援助していくことが大切です。

Merry Christmas

